



JAPAN OPERA FOUNDATION NEWS

JO F ニュース

日本オペラ振興会会報

No.

3



藤原歌劇団公演 【2007年11月】

プッチーニ「蝶々夫人」



清水知子



小林厚子



佐藤ひさら

【2008年3月】

ロッシーニ「どろぼうかささぎ」

日本初演

ニュープロダクション

藤原歌劇団 公演監督 岡山廣幸

現在藤原歌劇団に籍を置く歌手は団員・準団員を含めて700人以上います。「瑠璃も玻璃も磨けば光る」という諺のあるように、磨き方によって、どれだけ輝くがわからない逸材がそろっています。その中から適材適所で人選していく責任の重さに潰されそうになる時がありますが、意外なところで瑠璃や玻璃を見つけることがあります喜びを感じます。11月の「蝶々夫人」はおかげさまで初日・二日は、ほぼ完売となり、追加公演を決定いたしました。都心から30分以内で行ける新百合ヶ丘の新しいホールで、清水知子、小林厚子、佐藤ひさらという3人の「蝶々夫人」を聞き比べてください。

今年度最後の公演になる来年3月の「どろぼうかささぎ」は、本格的な劇場公演としては日本初演となるロッシーニのオペラです。一昨年の「ラ・チェネレントラ」、昨年の「ランスへの旅」でロッシーニの魅力をあらためて知らせてくれた、あのアルベルト・ゼッタが帰ってきます。8月にペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルを訪れた折にゼッタ氏にお目にかかり、興味あるお話を伺いました。今回のフェスティバルでもダミアノ・ミキエレットの新演出で「どろぼうかささぎ」が上演され評判になりましたが、氏は「ロッシーニの音楽は驚くほど現代的な感覚で書かれていて、新しい演出で上演されても違和感を感じない。今イタリアでめきめきと頭角を現してきた若手演出家ダヴィデ・リヴァーモアとの東京での共演を楽しみにしている」とのことでした。歌手もチンツィア・フォルテとアントニーノ・シラゲーザを招聘し万全を期した新制作となりますので、どうぞご期待ください。



アルベルト・ゼッタ氏と公演監督(ペーザロにて)

日本オペラ協会公演 【2008年1月】

水野修孝「美女と野獣」

日本オペラ協会 総監督 大賀寛

このオペラは平成元年10月に日本オペラ協会の日本オペラ・シリーズNo.40の演目として、水野修孝氏に委嘱し、初演しました。ジャン・コクトーの映画で知られる「美女と野獣」の翻案による、エンターテインメント・オペラとして好評を得ているものです。今回は、レパートリーとしての定着を願っての三演となりますが、スタッフは初演・再演とも一新し、新たな舞台形象により、作品の完成度のさらなる向上に期待が高まります。

指揮の三石精一氏は日本のオペラ界の重鎮、演出の岩田達宗氏は「葵上」に続き、過日の藤原歌劇団公演の「ラ・ボエーム」の感動的な舞台も記憶に新しい、気鋭の中堅です。主演の絹には斉田正子、佐藤美枝子の両プリマを当協会公演として初めて起用、再演に続く野獣役の三浦克次、柴山昌宣をはじめ、その他のキャストもアクターをそろえ、この作品の魅力を存分に伝えてくれることを願っています。

戦乱の世、野獣の姿に変身させられているが実は凛々しく心優しい美丈夫・月影雪之介と、可憐にして聖なる乙女・絹。愛への真情と葛藤にゆれる二人の男女に、人間の業をあげ笑うメフィストと、その配下の小悪魔たちが絡んで物語は進みます。日本オペラには場違いなキャラクター「メフィスト」は、万能の魔力を持つ、いわば鬼ですが、古典からポピュラー、現代音楽に至るあらゆるジャンルの音楽のクロスオーバー、グローバルな語法による流麗な流れと魅惑的なサウンドにより、おどろおどろしさは霧散、愛すべき輩となり、エンターテイナーとして、このオペラの重要なファクターとなっています。

一人でも多くの方たちにこのオペラの魅力を知っていただきたいと願っております。どうぞ会場へお運び下さい。



斉田正子



佐藤美枝子



三浦克次



柴山昌宣

藤原歌劇団公演

平成19年度文化庁芸術創造活動重点支援事業

パッチーニ作曲 **蝶々夫人** オペラ2幕〈字幕付き原語上演〉

指揮/菊池彦典 演出/粟國安彦

合唱:藤原歌劇団合唱部

管弦楽:東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

2007年

11月17日(土)・18日(日) 15:00/19日(月) 18:30

テアトロ ジーリオ ショウ

(小田急線新百合ヶ丘駅南口徒歩4分、昭和音楽大学南校舎キャンパス内)

各日とも開演の45分前から会場にて公演監督による解説がございます。開場は開演の1時間前です。

特別席¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥5,000

*C券は日本オペラ振興会チケットセンターのみお取り扱い

*但し、17、18日は特別席とA席のみ(残券少)

主催/財団法人日本オペラ振興会

	11/17	11/18	11/19 (追加公演)
蝶々夫人	清水知子	小林厚子	佐藤ひさら
ピンカートン	村上敏明	平尾憲嗣	エクトール・パラスイオ
シャープレス	三浦克次	柿沼伸美	牧野正人
スズキ	向野由美子	松浦 麗	森山京子
ゴロー	小宮一浩	市川和彦	小宮一浩
ボンゾ	豊島雄一	党 主税	豊島雄一
ヤマドリ	雨谷善之	清水良一	雨谷善之
神官	坂本伸司	秋本 健	坂本伸司
ケイト	日向由子	増田 弓	吉村 恵

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズNo.68

平成19年度文化庁芸術創造活動重点支援事業

2008都民芸術フェスティバル助成公演

水野修孝作曲 **美女と野獣** オペラ2幕

指揮/三石精一 演出/岩田達宗

合唱:日本オペラ協会合唱団

管弦楽:東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

2008年

1月11(金) 18:30/12日(土)・13日(日) 15:00

新国立劇場中劇場 (京王新線初台駅)

各日とも開演の50分前から会場にて総監督による解説がございます。開場は開演の1時間前です。

S¥12,000 A¥10,000 B¥8,000 C¥5,000 D¥2,000

*D券は日本オペラ振興会チケットセンターではお取り扱いいたしません。

主催/財団法人日本オペラ振興会・社団法人日本演奏連盟

	1/11・13	1/12
絹	斉田正子	佐藤美枝子
野獣	三浦克次	柴山昌宣
メフィスト	大久保 眞	井上白葉
くれない	橋爪明子	高波礼子
むらさき	庄 智子	佐藤恵利
紅屋	中村 靖	清水良一
耕作	鴨川太郎	岡山 肇
仙蔵	長谷川 敏	塚田堂琉
小悪魔		
火籠姫(サマランダ)	府川直子	比嘉千子
夜叉姫(ヤシャヒメ)	山田真里	白神晴代
蛇姫(ゴルゴン)	細見涼子	田中美佳
夜叉(ヤシャ)	松下祐貴子	西野郁子
銭鬼(ゼンギ)	鳴海優一	山内政幸
反吐鬼(ヘテロ)	清水一皓	山原卓実
天邪鬼(アマノジャク)	和田ひでき	東 玄彦
死神(シニガミ)	相澤 創	安東玄人

(あらすじ)

時はむかし、凜々しき月宮城主・月形雪之介は国と城を守る武器を手に入れるためにメフィストに魂を売り、その代償として野獣の姿となった。裕福な商人・紅屋の末娘、絹は、強欲な姉二人とは対照的に心清らかな娘である。旅に出た紅屋は事故で全財産を失ってしまい、辿り着いた野獣の城でせめてもの土産にと野獣の心の友であるゆうすげの花を手折ってしまう。怒った野獣はかねてから想いを寄せていた絹を差し出すよう要求する。絹は父を助けるために野獣の城に赴くが、心の優しさは理解しつつも、野獣を受け入れられない。メフィストと小悪魔が人間の野望や打算を囁くなか、絹の野獣への愛が真実かどうか試すために、満月の晩だけ雪之介の姿に戻る、というメフィストとの賭けにのった野獣だったが……。

藤原歌劇団公演

平成19年度文化庁芸術創造活動重点支援事業

2008都民芸術フェスティバル助成公演

日本初演 ロッシーニ作曲 **どろぼうかささぎ** オペラ2幕〈字幕付き原語上演〉

【ニュープロダクション】

指揮/アルベルト・ゼツダ 演出/ダヴィデ・リヴァーモア

合唱:藤原歌劇団合唱部

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団

2008年

3月7日(金) 18:30/8日(土)・9日(日) 15:00

東京文化会館 (JR上野駅公園口)

各日とも開演の45分前から会場にて朝岡聡氏によるプレトークがございます。開場は開演の1時間前です。

10月27日 特別席¥18,000 A¥14,000 B¥9,000 C¥7,000

発売

D¥5,000 E¥3,500 F¥2,000

*日本オペラ振興会チケットセンターではE券・F券はお取り扱い致しません。

主催/財団法人日本オペラ振興会 社団法人日本演奏連盟

	3/7・9	3/8
ニネット	チンツィア・フォルテ	高橋薫子
ジャンネット	アントニーノ・シラゲーザ	五郎部俊朗
代官	妻屋秀和	久保田真澄
フェルナンド	三浦克次	田島達也
ルチーア	森山京子	山崎知子
ファブリーツィオ	若林 勉	東原貞彦
ビッポ	松浦 麗	但馬由香
イザッコ	小山陽二郎	所谷直生
アントーニオ		
ジョルジョ		青柳 明
エルネスト		坂本伸司
裁判官		小田桐貴樹
		安東玄人

ロッシーニ「どろぼうかささぎ」

作品について

代表作「セビリアの理髪師」を初演した翌年の1817年、ロッシーニが25歳のときにスカラ座の委嘱により作曲した21作目のオペラ。初演は成功を収め、1818年には現在のペーザロ・ロッシーニ劇場の前身であるペーザロ新劇場のこけら落としでも上演されました。セリアとブッファの中間に位置する「セミ・セリア」形式で、フランス革命後の18世紀中葉、フランス演劇で流行した“救出劇”の要素を取り入れ、哀愁美に溢れた抒情的作品です。小太鼓の連打で始まり、オペラ本編からの旋律も多用した独創的な序曲はコンサートでもよく演奏される名曲で有名ですが、正味演奏時間が3時間を越す大作ゆえ、全曲上演はイタリアでも少なく、今夏ペーザロでの久々の上演は耳目を集めました。校訂版を手がけ、作品を熟知したアルベルト・ゼッダの指揮、新進演出家ダヴィデ・リヴァーモア演出のニュープロダクションによる今回の日本初演は、オペラ史に1ページを刻む注目の公演です。

【台本】	ジョヴァンニ・ゲラルディーニ(1778～1861)による2幕のイタリア語 原作は史実をもとにしたドビニおよびケニエによる同名のフランス語戯曲	
【初演】	1817年5月31日、ミラノ・スカラ座	
【登場人物】	ニネッタ(ソプラノ)	ファブリーツィオ家の小間使い
	ジャンネット(テノール)	ファブリーツィオ家息子。ニネッタの恋人
	代官(バス)	村の行政官
	フェルナンド(バス)	ニネッタの父。兵士
	ルチーア(メゾ・ソプラノ)	ファブリーツィオの妻
	ファブリーツィオ(バス)	裕福な農家の主
	ピッポ(メゾ・ソプラノ)	ファブリーツィオ家の使用人(ズボン役)

【あらすじ】

地主ファブリーツィオの妻ルチーアは、最近銀食器が頻繁になくなるのをニネッタの仕業ではないかと疑い、無くさないようにと念をおす。この日はジャンネットが兵役から帰還する日。久しぶりの再会を喜ぶニネッタとジャンネット。そこへ、脱走兵となった父フェルナンドが現れる。ニネッタは父が持っていた銀食器を行商人に売って父の逃走資金を得る。折しもまたファブリーツィオ家の食器が1つ足りないのが発覚し、ニネッタが疑われ、無実の罪で逮捕される。彼女に横恋慕する代官は、自分の求愛を受け入れれば許すと言いつけるが、ニネッタは拒否し、死刑を宣告されてしまう。いよいよ刑場へ引き立てられていくその時、食器盗みの犯人が判明！ いたずら好きのかささぎの仕業だったのだ。間一髪で無罪となったニネッタはジャンネットとの結婚を認められ、父も国王の許しを得て赦免、一同喜びの幕となる。

interview

ロッシーニの音楽が放つ刺激的な暗示

演出：ダヴィデ・リヴァーモア

今回の「どろぼうかささぎ」の演出を手掛けるダヴィデ・リヴァーモア氏は、テノール歌手としても活動を続けながら数々のオペラ演出やテレビ、ラジオの脚本など多彩な舞台活動を展開し、注目されている若手演出家です。ロッシーニの魅力、作品の魅力をうかがいました。

—歌手活動も続けながら、オペラ演出家を目指すことになった動機は？

前衛的、実験的な作品や、新しいオペラの形とその将来的な発展性を追究している私にとって、オペラ歌手としての活動は変わることなく貴重なものであり、また歌手たちと関わる中で彼らの声楽技法についての要求を理解するうえで非常に大切です。

演出家へと私をせき立てたのは舞台への情熱だけであり、独創性を表現したいという強烈なまでの欲求だったのです。

—演出の仕事の楽しさ、難しさは？

楽しさも難しさも、物語を語ることによりエモーションの伝達者となる素晴らしい経験の一部です。楽しさは、聴衆の心に涙と笑いの場面を創り出す興奮を意のままに動かすことにあり、そのためのアイデアが具体的にあっていく瞬間に難しさがあると言えます。しかし、概してそういった難しさとは、何かが高められ、私の仕事がさらに感動的に仕上がってゆくための素晴らしい

チャンスでもあるのです。

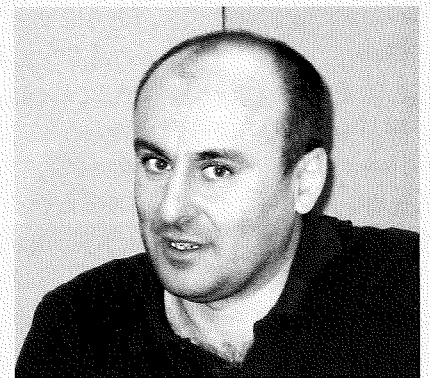
—ロッシーニ作品を演出する際に注意することは？

ロッシーニを演出する魅力は、音楽が放つ盛り沢山の刺激的暗示とヒントを得ることにあります。つまり、ロッシーニの音楽は決して観客の心を置き去りにすることがなく、常に滑稽さと劇的な情念の双方を絶やすことなく観る者を興奮へと導くのです。

ロッシーニのオペラを舞台にのせる時に、決して見失ってはいけないことがあります。それは歌手たちに課せられた声楽上のヴィルトゥオーゾな技巧や名人芸と、彼らの声楽的能力を最大限に活かせるように、劇として効果的に創られた演出上の流れを与えてあげることです。

—「どろぼうかささぎ」の魅力は？

「どろぼうかささぎ」は、19世紀半ばの社会を非常に強く揺さぶった、純朴ですが、ずば抜けてありのままの感情が織りなす世界です。



●ダヴィデ・リヴァーモア Davide Livermore
イタリアのトリノ生まれ。1992年アスリコ・コンクール優勝。テノール歌手として活躍の傍ら98年から演出活動も始め、02年からトリノのバレッティ劇場芸術監督として主に古典や現代作品を手がける。ロッシーニではバリのベトゥルツェリ劇場で03年「ラ・チェネレントラ」(06年フィラデルフィアで再演)、05年「セビリアの理髪師」、その他、イタリアやフランス各地で「愛の妙薬」、ジェノヴァのカルロ・フェリーチェで「ドン・ジョヴァンニ」、トリノ王立劇場で「後宮からの逃走」などを演出し好評を博している。

お客さまには実際の舞台で楽しんでいただきたいので、ここで演出の具体的なことは申し上げませんが、オペラの登場人物は、私たちの人生の中で起こるさまざまな出来事が映し出された姿です。私の手がけた舞台が、人生の喜びと情熱、また途方もなく素晴らしい財産を世界中にもたらす力に満ち溢れることを願っています。

アルベルト・ゼツダが語る、「どろぼうかささぎ」の魅力

今回が藤原歌劇団に3度目のお目見えとなる指揮者のアルベルト・ゼツダ氏は、ロッシーニ研究の世界的権威として知られています。芸術監督を務めるロッシーニ・オペラ・フェスティバル開催中のペーザロで、「どろぼうかささぎ」についてお話をうかがいました。

取材・文＝小畑恒夫(音楽評論家)

「どろぼうかささぎ」はロッシーニのオペラの中でも一風変わった作品です。セミ・セリアと呼ばれるこのオペラの中にはすべてがあります。喜劇もあれば悲劇もある。最初はとても軽やかに、楽しげに始まります。ピッコもニネッタもジャンネットもみんな陽気です。ところがニネッタの父のフェルナンドが現われると雰囲気は一変します。罪を犯して軍を脱走した彼の音楽は悲劇的です。台本を読むとただ「哀れな父」という印象ですが、音楽はとてもドラマティックです。物語に不釣り合いなほど立派な音楽が鳴る。それがこのオペラの特徴なのです。田舎の代官にも堂々たる音楽がつけられていて、その権力の大きさが強調されています。スプーンを一本盗んだというちっぽけな娘を相手に重々しい裁判があり、長大な五重唱が半時間も続く。台本はちょっとした話なのに、音楽は4時間もかかります。あなたがもしその4時間を満足して聴いたら、「どろぼうかささぎ」の魅力はニネッタの物語にあるのではなく、音楽にあることが理解できるでしょう。

物語を離れて音楽を聴いていると、ニネッタをマリア・ストゥアルダに、権力を悪用する代官をエンリーコ4世に置き換えたくになります。ロッシーニの音楽はそれほど巨大な権力を連想させるんです。あの美しい葬送行進曲が田舎の娘のために書かれるなんて正気の沙汰ではありません。ロッシーニはとて

も奇妙な作曲家で、彼のオペラはベッリーニやドニゼッティ、ヴェルディたちロマン主義の作曲家たちのオペラとはかなり違ってきます。彼のオペラ・セリアが上演されるようになってわかってきたのですが、ロッシーニはオペラで人間の生々しい感情を描こうとはしていません。彼の作曲は「理想化」の過程であって、作品は神々しいモニュメントなのです。

「どろぼうかささぎ」にはすべてがあります。美しい音楽、わかりやすい物語、交互に現れる深刻さと陽気さ……。それだけでも楽しめますが、ロッシーニの音楽にはもっと知的な要素もあります。そこに大きな楽しみがありますが、何を感じるとかは聴き手の知識や感性によってさまざまでしょう。

ロッシーニはこのオペラで「自分は最高の音楽を書いた」と言いましたが、それを実感できるのはおそらく今日の私たちでしょう。28年前に始まったロッシーニ・オペラ・フェスティバルで私が最初に取りあげたのはこのオペラでした。この音楽の素晴らしさを信じていたからですが、実際に何度か上演して、物語の小ささと音楽の大きさのアンバランスに戸惑いました。でもこのアンバランスは、ロッシーニの「オペラ」が理解できるようになった今日では、すぐれた演出によって、ファンタジーの力によって埋めることができるのです。このオペラの評価は今後さらに高まって行くと思います。



●アルベルト・ゼツダ Alberto Zedda

イタリアのミラノ生まれ。ミラノにて音楽と人文学を学ぶ。1957年、イタリア国営放送RAI主催の若手指揮者のための国際コンクール優勝により指揮活動を開始。以来、欧米各地で活躍。同時に音楽学への研究にも取り組み、特にロッシーニ研究の権威として広く知られている。マルティーナ・フランカのヴァッレ・ディートリア音楽祭、ジェノヴァのカルロ・フェリーチェ劇場、ミラノ・スカラ座、ファーンのバロック・フェスティバルなどで音楽監督や芸術監督などの要職を歴任し、学者として教育分野での業績も高い評価を得ている。現在は、ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル芸術監督とロッシーニ・アカデミー学長、ラ・コルニャのモーツァルト・フェスティバル芸術顧問を務めている。藤原歌劇団では05年「ラ・チェネレントラ」、06年「ランスへの旅」を指揮して絶賛を博し、今回は校訂版を手がけた思い出の深い作品、「どろぼうかささぎ」の日本初演で3度目の登場となる。

緊張した大役の思い出 —— 林 康子 (ソプラノ/藤原歌劇団団員)



イタリアでも長い間まったく上演が途絶えていた「どろぼうかささぎ」ですが、1973年11月にローマ歌劇場のシーズン・オープニングに、アルベルト・ゼツダ氏による最初のクリティカル・エディションで上演され、ニネッタ役を世界のプリマ・林康子さんが歌っています。藤原歌劇団ではドニゼッティやヴェルディ、ブッチーニなどのオペラで活躍されている林さんにその時の思い出を寄せていただきました。

1972年に生誕180周年記念ロッシーニの新しい声を探すというイタリア国営テレビRAIの大規模なコンクールでソプラノで優勝するまでは、ロッシーニのアリアもほとんど歌っていませんでした。私に白羽の矢が立ったのは、ニネッタ役を頼まれていたメゾのテレサ・

ベルガンサが音域が高すぎると断ってきたからです。ちょうどその時ロッシーニ・コンクールで私が注目を浴びていたのはまったくの幸運でした。この公演では同コンクールでメゾで優勝したルチア・ヴァレンティーニも一緒に歌いました。

ソプラノの私には少々低い音域ですので、ゼツダ先生がカデンツァを書き加えてくれたりしました。ニネッタは大役で、長大なレチタティーヴォをはじめ歌い続けのこの役を、いったいやりとげられるのか、オープニングの直前には緊張のかたまりでした。いまだにそれほど緊張した公演はありません。しかし公演は大成功、その後ロッシーニのオペラ作品をたくさん歌うことになったのです。可愛いアリアやピッコとの二重唱など、昨日のこのように思い出します。おかげでローマ新聞で批評家のロンギさんが、私のイタリア語が見事であったと誉めてくれ、本当にがんばってよかったと思いました。

チンツィア・フォルテ (ソプラノ) Cinzia Forte
ニネッタ (3/7,9)

ナポリ生まれ。スポレートでの「ラ・ボエーム」でデビュー以来、イタリア国内外で活躍中の人気ソプラノ。特にリリックやコロラトゥーラのレパートリーは高く評価され、モーツァルトの諸作、ロッシーニ、ドニゼッティ、ベッリーニなどのベルカント作品、フランス・オペラで国際的名声を上げている。特筆すべき出演として、ローマ歌劇場でドミンゴ共演「フェドーラ」のオルガ、ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルでのダリオ・フォー演出「新聞」、ピッツィ演出「テレーティとベレオの結婚」、サンカルロ歌劇場でのJ. テイト指揮「フィガロの結婚」などが挙げられる。2002年1月藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」のヴィオレッタで初来日。その後、新国立劇場公演「ルチア」やベッリーニ大劇場公演などでたびたび来日している。



アントニーノ・シラゲーザ (テノール) Antonino Siragusa
ジャンネット (3/7,9)

メッシーナ生まれ。1996年ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際声楽コンクで優勝、「愛の妙薬」のネモリーノでデビュー以来、ドニゼッティやベッリーニなどベルカント・オペラの上演には欠かせないテノールとして活躍している。特にロッシーニは中心的なレパートリーで、これまでの主な出演は、「セビリアの理髪師」「オテッロ」「ランスへの旅」「ラ・チェネレントラ」「セミラミデ」「絹のはしご」「新聞」「ひどい誤解」「アルジェのイタリア女」「イギリス女王エリザベッタ」など。ロッシーニ・テノールの第一人者として欧米各地で活躍し、ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバルの常連でもある。来日も多く、日本で的人气も高い。藤原歌劇団には今回が初登場となる。



高橋薫子 (ソプラノ) Nobuko Takahashi
ニネッタ (3/8)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。文化庁オペラ研修所第7期修了。1990年、イタリア声楽コンクールでシエナ大賞、モーツァルト没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクール本選でアンナ・ゴットリーブ賞受賞。同年、藤原歌劇団公演「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナで本格的デビューを飾って注目された。91年から93年までミラノに留学。93年に藤原歌劇団「ルチア」のタイトルロールの代役で大成功を収め、この役の代表的歌手に躍り出た。以降も藤原歌劇団「愛の妙薬」「イル・カンピエッロ」「ランスへの旅」「ラ・ボエーム」「リゴレット」、新国立劇場「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「セビリアの理髪師」ほか多くのオペラで活躍し、澄みわたる美声と可憐な舞台姿で観客を魅了している。藤原歌劇団団員。



五郎部俊朗 (テノール) Toshiro Goro
ジャンネット (3/8)

北海道教育大学卒業。1986年渡伊、88年トレヴィーゾ市立劇場での「ラ・チェネレントラ」でオペラ・デビュー。90年帰国、早速、藤原歌劇団「ドン・ジョヴァンニ」のドン・オッターヴィオで日本でのオペラ・デビューを飾り、続いて「ラ・チェネレントラ」でルチア・ヴァレンティーニ・ニ・テッターニと共演して絶賛を博し一躍脚光を浴びる。日本を代表するロッシーニ歌手として活躍。最近の藤原歌劇団のロッシーニ・ブッファ・シリーズ「イタリアのトルコ人」「アルジェのイタリア女」「ラ・チェネレントラ」でも成功を収め、06年は「ランスへの旅」のリーベンスコフ伯爵で喝采を浴びている。軽やかな高音は独特な魅力を醸し出す。第19回ジロー・オペラ賞新人賞受賞。藤原歌劇団団員。



Message

10年ぶりのニネッタ、楽しみです—— チンツィア・フォルテ

「どろぼうかさざぎ」は、滑稽さと劇的なシリアスさの両面が混じりあったジャンルであるセミ・セリアに属し、そこには写実的な背景描写や日常生活から抜け出したような登場人物たちが描かれ、彼らの感情に見られる人間の本质や素朴さが鮮明に浮き出ている。

物語は、実際に起こったできごとから着想を得ています。ニネッタは軍隊を逃げ出したために脱走兵としてお尋ね者になっている父をたすけるために、父に頼まれて食器類を売るのですが、これが誤解を招くことになります。裁判が行なわれ死罪が言いわたされますが、盗みの犯人が本当は一羽のかさざぎであると見抜いた誠実な友ピッポのおかげで、彼女は最悪の事態を免れHappy・エンドとなります。

史実では本当に極刑に処されたニネッタですが、通常ロッシーニが描いてきた登場人物とは異なっています。彼女は貴族階級に属するのでもなければ、歴史的な重要人物でもありません。純朴で慎ましい娘であって、自らの道義心に誠実であろうと受難を受け入れた時に英雄と化すのです。それは、強固な意志と親への愛情における一つの模範であり、権力を支配する者の専横と悪意に対峙する存在なのです。



ニネッタを演じるチンツィア・フォルテ

数年前、キャリア初期に私はこの役に取り組みました。ヴェネツィア・フェニーチェ劇場のシーズン開幕公演でのことで、同劇場にて「ルチア」で幸運なデビューをした後でした。

私にとってはとても重要で、表現力を育むことにも役立つ経験となりました。なぜならば、この作品を通じて、私がこれまで頻りに演じてきたものとは異なるレパートリーに挑めたからです。初めて、ロッシーニの“セミ・セリア”の役に臨んだのです。

求められるドラマ性と中音域に集まった声部の使用により、声楽的にも役作りの点からも、この登場人物の掌握は複雑なのです。10年の時を経た今、再びこの役に取り組めることを嬉しく思います。より熟した自分と、近年同様なレパートリーを通じて得た経験が以前とは違う解釈をそこに注いで行けると感じています。

初来日であった2002年の藤原歌劇団「ラ・トラヴィアータ」、昨年のベッリーニ劇場横浜公演「夢遊病の女」と、日本の皆様はいつも私を温かく迎えて下さいました。その皆様の愛情と敬意に同じように応えるべく再び来日できますことは、私にとって本当に大きな喜びです。

海外留学者情報

* 平成19年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員(1年間)

** 同特別(3ヶ月)

★ 五島記念文化財団奨学生



石上朋美 * (ソプラノ) 藤原歌劇団団員 研修地:ジェノヴァ

長い間、望んでいながら叶えることができなかったイタリア留学。藤原歌劇団への入団という夢とともに願いを叶えることができました。たった1年間ですが、帰国後、憧れの藤原の舞台上に立てるよう、イタリアの空気を胸いっぱい吸い込んで、さまざまな経験を積んでまいります。



山口佳子 * (ソプラノ) 藤原歌劇団団員 研修地:ミラノ

既にミラノでの留学生活は2年になりますが、この秋からさらに1年間の研修を受けられることになり本当に有難く思っております。これまでの留学生活で培ってきた事を実践に生かせるように、1年間はあっという間だと思いますが、時間を惜しんでさまざまな挑戦をしてみたいと思っております。



烏木弥生 * (メゾ・ソプラノ) 藤原歌劇団団員 研修地:パリ

文化庁の海外研修員として1年間パリで学ばせていただくことになり、ご尽力くださった方々へは心より感謝しております。良い学び手である1年間を、また良い芸術の後継者を目指すための1年間を過ごしたいと思っております。



平尾憲嗣 * (テノール) 藤原歌劇団団員 研修地:ボローニャ

1年間という長いようで短い貴重な時間の中で、歌のレッスンや語学の授業などのさまざまな体験を通じて、できる限りたくさんの方の事を吸収したいと思っております。このような良い機会をいただき感謝しております。



羽瀧浩樹 * (バリトン) 藤原歌劇団団員 研修地:フィレンツェ

今年12月より研修員としてフィレンツェに留学することになりました。芸術・文化に囲まれた素晴らしい環境のなかで、五感で感じるすべてのものを吸収し、自分自身の可能性を広げてきたいと思っております。



藤原藍子 * (コレパティトゥール) 藤原歌劇団団員 研修地:ミラノ

10月よりイタリア・ミラノで研修を開始します。これまでお世話になった先生方や支えてくださった方達に、心から感謝いたします。1年間という限られた時間ですが、経験するすべての事が自分の糧となるよう大切に貪欲に過ごしたいです。



小林厚子 ** (ソプラノ) 藤原歌劇団団員 研修地:ミラノ

「蝶々夫人」公演終了後の12月より3ヶ月間の研修をさせていただくことになりました。充実した期間となるよう、目的意識をしっかり持ち、自己の課題にじっくり取り組んでいきたいと思っております。「私」という楽器をていねいに磨いて、元気に帰って参ります!



党主税 * (バリトン) 藤原歌劇団団員 研修地:ミラノ

五島文化財団オペラ新人賞をいただき、再びミラノへ留学します。大変名誉を感じるのと同時に、身が引き締まる思いです。結果を恐れずに精力的に挑戦していく中で研磨を積み、自己の確立を目指します。

2007年度 昇格団員および新入団員

▶ 準団員から
正団員へ



納富景子 (S)



青柳 明 (T)



党主税 (Br)



東原貞彦 (B)

▶ 準会員から
正会員へ



鷹木真理子 (S)

▶ 新入団員
(正団員)



石上朋美 (S)



正岡美津子 (S)



二渡加津子 (MS)



伊藤 俊シク (Br)

▶ 新入団員
(準団員)



石北美輝 (S)



岩本留美 (S)



内海万里子 (S)



大内杏奈 (S)



大谷祐子 (S)



小澤直子 (S)



小石 薫 (S)



笹谷朋世 (S)



清水寛子 (S)



宗心裕子 (S)



竹内淳子 (S)



趙 明美 (S)



中川悠子 (S)



平田雅美 (S)



藤田美香 (S)



前原加奈 (S)



松嶋 瞳 (S)



宮地伸枝 (S)



望月智代 (S)



元田由貴美 (S)



横田昌子 (S)



由水理恵 (S)



武内馨子 (MS)



二瓶純子 (MS)



別府聡子 (MS)



吉村 恵 (MS)



小林正俊 (T)



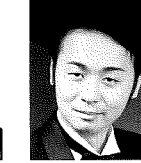
新後閑大介 (T)



正木庸平 (T)



山原卓実 (T)



上田誠司 (Br)



和下田大典 (Br)

外部オペラ出演マネジメント (2007年4月~2008年7月)

(2007年9月10日現在)

【2007年】
 ■4月1日(日)、2日(月)、4日(水)、5日(木)
 オペラ「オルフェオ」
 主催●ダウランド・アンド・カンパニー
 出演●中鉢 聡
 会場●ムジカーザ
 ■5月5日(土)、6日(日)
 立川市民オペラ
 「カヴァレリア・ルスティカーナ」[道化師]
 出演●下原千恵子、河野めぐみ、永澤三郎、
 角田和弘、牧野正人、伊藤和広、松浦 健、
 鳴海優一、立花敏弘、押川浩士、高田恭代
 会場●アミュー立川
 ■5月29日(日)
 AMARATO OPERA公演
 「カヴァレリア・ルスティカーナ」
 出演●中鉢 聡
 会場●市川市文化会館(小)
 ■6月6日(水)、9日(土)、12日(火)、
 15日(金)、17日(日)、20日(水)
 新国立劇場公演「ぼらの騎士」
 出演●妻屋秀和
 ■6月13日(水)、16日(土)、
 19日(火)、21日(木)
 新国立劇場公演「ファルスタッフ」
 出演●妻屋秀和
 ■7月13日(金)、14日(土)、
 15日(日)、16日(月・祝)
 東京室内歌劇場公演「アルチャーナ」
 出演●出口正子、高橋薫子
 ■7月15日(日)、18日(水)、21日(土)
 ラ ヴォーチェ公演「ドン・キホーテ」
 出演●折江忠道、柴山秀明、秋本 健、
 藤原歌劇団合唱部(合唱指揮:及川 貢)ほか
 会場●新国立劇場中劇場
 ■8月25日(土)、26日(日)
 国立オペラカンパニー青いサカナ団公演
 「アゲハの恋」
 出演●持木 弘、中村 靖
 会場●新国立劇場小劇場
 ■8月29日(水)、30日(木)
 ミラマール・ムジカ2007公演「魔笛」
 出演●党 主税、佐藤恵利、小熊奈穂、

園田直美、折河宏治、鶴川勝也
 会場●めぐろパーシモンホール
 ■9月13日(木)
 IFACオペラ「ファルスタッフ」
 出演●大貫裕子、彭 康亮
 会場●東京文化会館大ホール
 ■9月24日(月・祝)
 第7回津山国際総合音楽祭
 「カヴァレリア・ルスティカーナ」(演奏会形式)
 出演●堀内康雄
 会場●ベルフィオーレ津山
 ■10月7日(日)
 クラウ「魔法の琴瑟」(演奏会形式)
 主催●日本クラウ協会
 出演●若林 勉
 会場●第一生命ホール
 ■10月14日(日)
 日本オペラ協会公演「ほほえみの国」
 出演●田代 誠
 会場●北とびあ・さくらホール
 ■10月18日(木)、20日(土)、
 23日(火)、27日(土)
 新国立劇場公演「フィガロの結婚」
 出演●森山京子
 ■10月19日(金)、20日(土)
 「蝶々夫人」
 平成19年度文化庁国際芸術交流支援事業
 日中国交正常化35周年記念
 第9回中国上海国際芸術祭参加オペラ公演
 主催●日本オペラ連盟
 出演●佐藤ひさら、岡崎他加子、折江忠道、
 松浦 健、彭 康亮、仲野玲子、
 藤原歌劇団合唱部(合唱指揮:及川 貢)
 会場●東方芸術センター(上海市)
 ■10月27日(土)
 大田区民オペラ「ノルマ」
 出演●村上敬明
 会場●大田区民ホール アプリコ
 ■11月10日(土)、11日(日)、13日(火)、
 14日(水)、15日(木)
 日生劇場オペラ
 「カプレーティ家とモンテッキ家」
 出演●砂川涼子、須藤慎吾

■11月16日(金)、18日(日)
 東京室内歌劇場公演「ザ・芸者」
 出演●齊田正子、鹿野章人
 会場●ル テアトル銀座
 ■11月25日(日)
 東京室内歌劇場公演「プロデュースオペラ公演
 「こびと(王女様の誕生日)」
 出演●高橋薫子
 ■12月8日(土)
 東京室内歌劇場オペラ「道化師」(セミ・ステー
 ジ形式)
 出演●牧野正人、村上敬明
 ■12月14日(金)、16日(日)
 東京室内歌劇場公演「後宮からの逃走」
 出演●出口正子
 会場●新国立劇場中劇場
 ■12月23日(日)
 町田市民オペラ「ラ・ボエーム」
 出演●村上敬明
 会場●町田市民ホール

【2008年】
 ■1月6日(日)
 浜松フィル「セビリアの理髪師」
 出演●高橋薫子、五郎俊朗、牧野正人
 会場●浜松アクティビティホール
 ■1月11日(金)、24日(木)、26日(土)、
 2月9日(土)、11日(月・祝)、13日(水)、
 16日(土)、24日(日)
 「夕鶴」
 主催●ジャパンアーツ
 出演●持木 弘、牧野正人
 会場●人見記念講堂ほか各地7ヶ所
 ■1月20日(日)、22日(火)、24日(木)、26日(土)
 新国立劇場公演「ラ・ボエーム」
 出演●妻屋秀和
 ■2月3日(日)、6日(水)、9日(土)、11日(月)
 新国立劇場公演「サロメ」
 出演●松浦 健
 ■2月22日(金)、23日(土)、24日(日)
 新国立劇場公演「黒船」
 出演●村上敬明、市川和彦、谷 友博

■2月24日(日)
 トヨタ・コミュニティ・コンサート
 「ラ・ボエーム」
 出演●大貫裕子、安達さおり
 会場●大阪
 ■3月2日(日)
 「カヴァレリア・ルスティカーナ」
 出演●中鉢 聡
 会場●横須賀芸術劇場
 ■3月10日(月)、13日(木)、16日(日)、
 20日(木・祝)、23日(日)、26日(水)、29日(土)
 新国立劇場公演「アイダ」
 出演●堀内康雄
 ■3月15日(土)、16日(日)
 オペラ彩「ナブッコ」
 出演●出口正子、下原千恵子、河野めぐみ、
 須藤慎吾
 会場●新国立劇場中劇場
 ■3月16日(日)
 トヨタ・コミュニティ・コンサート
 「ラ・ボエーム」
 出演●大貫裕子、安達さおり
 会場●酒田希望ホール
 ■3月27日(木)~4月2日(木)
 「蝶々夫人」
 主催●会場●兵庫県芸術文化センター
 出演●松浦 健、若林 勉
 ■4月10日(木)、13日(日)、15日(火)、
 18日(金)、20日(日)
 新国立劇場公演「魔弾の射手」
 出演●妻屋秀和
 ■5月5日(月)、7日(水)、10日(土)
 新国立劇場公演「軍人たち」
 出演●森山京子、小山陽二郎
 ■6月5日(木)、8日(日)、11日(水)、
 14日(土)、17日(火)
 新国立劇場公演「椿姫」
 出演●東原貞彦、久保田真澄
 ■7月11日(金)~18日(金)
 新国立劇場オペラ鑑賞教室公演「椿姫」
 出演●野田ヒロ子、村上敬明、牧野正人、
 谷 友博、東原貞彦、久保田真澄

その他コンサート等 出演マネジメント (2007年10月~2008年3月)

(2007年9月10日現在)

2007年
 ■10月3日(水)
 中鉢 聡 ザ・ミュージアム・コンサート
 (Bunkamura ミュージアム)
 出演●中鉢 聡
 ■10月3日(水)
 国際交流基金授賞式(ホテルオークラ)
 出演●庄 智子、村上敬明、大野美智子
 ■10月6日(土)、7日(日)、8日(月)
 東京交響楽団 モーツァルト「レクイエム」
 (東京オペラシティ、ミュゼザ川崎、りゅうとびあ)
 出演●野田ヒロ子
 ■10月6日(土)
 仙台クラシックフェスティバル
 中鉢聡テノールリサイタル(仙台市青年文化センター)
 出演●中鉢 聡
 ■10月8日(月・祝)
 仙台クラシックフェスティバル「第九」(イズミティ21)
 出演●中鉢 聡
 ■10月16日(火)
 中鉢 聡 テノールリサイタル
 (所沢市民文化センターミュージス)
 出演●中鉢 聡
 ■10月27日(土)
 ショウミュージックカフェ(昭和音楽大学ユリホール)
 出演●岡山廣幸 他
 ■10月30日(火)
 群馬大学附属中学校 音楽鑑賞教室
 出演●大貫裕子、河野めぐみ、所谷直生、羽濑浩樹、
 奥谷恭代
 ■11月2日(金)、11日(日)
 古閑裕而記念音楽祭 in 川崎・福島
 (ミュージザ川崎、福島市音楽堂)
 出演●五郎俊朗
 ■11月4日(月・休)
 ヴェルディレクイエム(東京文化会館)

出演●久保田真澄
 ■11月10日(土)
 東京リーダーターフェル(すみだトリフォニー)
 出演●村上敬明
 ■11月14日(水)~16日(金)
 アウトリーチ(北九州市響ホール)
 出演●大森智子
 ■11月17日(土)
 トヨタコミュニティコンサート沼津市
 出演●家田紀子、中鉢 聡
 ■11月25日(日)
 藤沢市民オペラ・ガラコンサート(藤沢市民会館)
 出演●小濱妙美、牧野正人
 ■11月25日(日)
 立川市民「第九」(アミュー立川)
 出演●清水知子、菅家奈津子、川久保博史、豊島
 雄一
 ■12月1日(土)
 豊岡コンサート(豊岡市民会館)
 出演●大森智子
 ■12月2日(日)
 サントリーホール万人の第九(サントリーホール)
 出演●高橋薫子、中鉢 聡
 ■12月6日(木)
 高橋薫子・中鉢 聡チャリティ・ジョイントコンサート
 (高知県文化会館オレンジホール)
 出演●高橋薫子、中鉢 聡
 ■12月9日(日)
 広島交響楽団「第九」(呉市民会館)
 出演●中鉢 聡
 ■12月9日(日)
 フレッシュ名曲コンサート「第九」
 (北とびあ さくらホール)
 出演●平尾憲嗣、牧野正人
 ■12月9日(日)
 多摩市「第九」(パルテノン多摩)

出演●清水知子、菅家奈津子、川久保博史、伊藤
 和広
 ■12月11日(火)
 中鉢聡テノールリサイタル(白井市文化会館)
 出演●中鉢 聡
 ■12月14日(金)
 中鉢 聡 テノールリサイタル(ハーモニーホール座間)
 出演●中鉢 聡
 ■12月15日(土)、16日(日)
 東京交響楽団「第九」(東京芸術劇場、ミュゼザ川崎)
 出演●堀内康雄
 ■12月15日(土)
 おやこ de クラシック・コンサート(ひたちなか)
 出演●大森智子
 ■12月16日(日)
 オーケストラ・アンサンブル金沢コンサート
 (石川県立音楽堂)
 出演●五郎俊朗
 ■12月16日(日)
 「第九」(川口リリアホール)
 出演●小濱妙美
 ■12月18日(火)~27日(木)
 読売日本交響楽団「第九」
 (東京芸術劇場、サントリーホール、みなとみらい 他)
 出演●中鉢 聡
 ■12月22日(土)
 「第九」(神奈川県民ホール)
 出演●持木弘、牧野正人
 ■12月24日(月・祝)
 日野市民「第九」(日野市民会館)
 出演●佐藤美枝子、森山京子、村上敬明、堀内康雄
 ■12月28日(金)
 東京シティフィル「第九」(東京文化会館)
 出演●東原貞彦
 ■12月31日(月)
 帝国ホテル「シルバスターコンサート」(帝国ホテル)

出演●齊田正子
 2008年
 ■1月3日(木)
 NHKニューイヤー・オペラコンサート(NHKホール)
 出演●藤原歌劇団合唱部ほか未定
 ■1月13日(日)
 日立ニューイヤーコンサート(日立シビックセンター)
 出演●立野至美、豊島雄一
 ■1月13日(日)
 世田谷区「第九」(人見記念講堂)
 出演●納富景子、菅家奈津子、角田和弘、折江忠道
 ■1月18日(金)
 日本フィル第45回定期演奏会(大宮ノックホール)
 出演●高橋薫子
 ■1月22日(火)~26日(土)
 アクティビティとコンサート(愛知県武豊市)
 出演●大森智子
 ■2月9日(土)
 五郎俊朗コンサート(ヒルトン東京ホテル)
 出演●五郎俊朗
 ■2月16日(土)
 オペラ・レクチャーコンサート(山梨県市川市)
 出演●折江忠道 他
 ■2月22日(金)
 ショウミュージックカフェ(昭和音楽大学ユリホール)
 出演●岡山廣幸 他
 ■2月23日(土)
 北九州ガラコンサート(北九州市響ホール)
 出演●大森智子
 ■2月27日(水)~3月1日(土)
 アクティビティとコンサート(豊橋市)
 出演●菅家奈津子
 ■3月22日(土)
 五郎俊朗テノールリサイタル(伊勢崎市)
 出演●五郎俊朗

公演レポート

藤原歌劇団公演

ヴェルディ作曲「リゴレット」

5月25～27日東京文化会館
6月3日神奈川県民ホール



指揮:リカルド・フリッツァ
演出:ニコラ・ジョエル

リゴレット ● アルベルト・ガザーレ(5/25、27、6/3) / 堀内康雄(5/26)
マントヴァ公爵 ● エマヌエーレ・ダグアノ(5/25、27、6/3) / 平尾憲嗣(5/26)
ジルダ ● 高橋薫子(5/25、27) / 佐藤美枝子(5/26、6/3) 他

藤原歌劇団では20年ぶりの上演となった「リゴレット」。アルベルト・ガザーレと堀内康雄という二人の若手ヴェルディ・バリトンが、それぞれに異なる持ち味でダイトルロールを切々と歌い、秋にピンカートンを歌う平尾憲嗣が大役デビュー、藤原の両プリマ、高橋薫子、佐藤美枝子も可憐なジルダを演じました。また、イタリア・オペラ界の期待を担う新鋭指揮者リカルド・フリッツァも、躍動感ある切れ味鋭い音楽づくりで熱演、大きな拍手を頂戴して4回の公演を終えました。

受賞情報

- 村上敏明(テノール) 藤原歌劇団団員
2007年5月 第13回フランチェスコ・アルバネーゼ国際声楽コンクール(イタリア)第1位優勝
- 廣田美穂(ソプラノ) 藤原歌劇団団員
2007年7月 第43回日伊声楽コンクール第1位優勝
- 納富景子(ソプラノ) 藤原歌劇団団員
2007年7月 第43回日伊声楽コンクール歌曲賞受賞

受託公演

文化庁本物の舞台芸術体験事業

藤原歌劇団公演「カルメン」ハイライト

- 9/28 鹿児島県垂水市立垂水中学校
- 10/3 宮崎市立檜中学校
- 10/1 宮崎市立広瀬中学校
- 10/4 宮崎市立青島中学校
- 10/2 宮崎市立東大宮中学校
- 10/5 宮崎市立清武中学校

指揮:松下京介 演出:今井伸昭
出演:[カルメン] 森山京子/河野めぐみ、[ドン・ホセ] 永澤三郎/角田和弘
[ミカエラ] 家田紀子/竹村佳子、[エスカミーリョ] 三浦克次/柿沼伸美
[語り部] 鹿志村篤臣、[合唱] 藤原歌劇団合唱部

横須賀市中学校芸術鑑賞会

日本オペラ協会公演「夕鶴」(主催:横須賀市教育委員会)

12月5日(水)、6日(木)、7日(金) よこすか芸術劇場

指揮:坂本和彦 演出:立花車扇
出演:[つう] 大貫裕子、[与ひょう] 角田和弘 他

ジ・インペリアル・オペラ

藤原歌劇団公演「セビアの理髪師」

2008年4月28日 帝国ホテル3階・富士の間

演出:ダリオ・ボニッスィ
出演:[アルマヴィーヴァ伯爵] ドミニク・モラレス、[ロジーナ] 高橋薫子
[フィガロ] 森口賢二 他

神奈川県民ホール主催オペラ

藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」

2008年6月1日(日) 神奈川県民ホール

指揮:大勝秀也 演出:ペッペ・デ・トマーゾ
出演:[ヴィオレッタ] 出口正子、[アルフレード] ドミニク・モラレス
[ジェルモン] 牧野正人 他

その他の主催公演

フレッシュコンサート2007

11月30日(金) イノホール 全席自由¥3,000

正団員 ● 石上朋美、納富景子、正岡美津子、二渡加津子、青柳 明
Yim JunSik、党 主税、東原貞彦

準団員 ● 石北美輝、趙 明美、前原加奈、宮地伸枝、武内馨子
別府聡子、吉村 恵、新後閑大介、正木庸平、山原卓実
上田誠司、和下田大典

正会員 ● 鷹木真理子

ピアノ ● 大藤玲子・村上尊志

日本オペラ振興会オペラ歌手育成部

第27期生 新人育成オペラオペラアンサンブル公演

●昼コース公演 2008年3月15日(土)

ロッシェニ「結婚手形」/ ジョルダノ「聖母マリアの月」

●夜コース公演 2008年3月16日(日)

モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」

平成20年度(2008年～2009年)日本オペラ振興会主催オペラ公演

藤原歌劇団

ヴェルディ作曲「ラ・トラヴィアータ」

2008年 8月26日(火)・27日(水) テアトロ ジーリオ ショウワ
9月3日(水)・4日(木) 東京文化会館

プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」

2008年 11月28日(金)・29日(土)・30日(日) テアトロ ジーリオ ショウワ

ボンキエリ作曲「ラ・ジョコンダ」

2009年 1月31日(土) 2月1日(日)・2日(月) 東京文化会館

日本オペラ協会

水野修孝作曲「天守物語」

2009年 2月20日(金)・21日(土) オーチャードホール

財団法人日本オペラ振興会 鑑賞会員 募集中! JOFアミーチ・デル・テアトロ・リリコ

日本オペラ振興会が主催するすべてのオペラ公演とコンサートが鑑賞でき、しかもさまざまな特典もある大変お得な日本オペラ振興会の年間鑑賞会員(JOFアミーチ会員)です。入会は随時可能で、会員資格の有効期間は1年間です。

入会申込受付:随時(「蝶々夫人」からご入会が可能です)
年会費:特別会員 1口=10万円 A会員 1口=7万円

【特別会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につき特別席2枚)

【A会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペラ公演、コンサートにご招待。(1口につきA席2枚)

〈会員特典〉

- ① オペラ公演のGP見学
- ② バックステージ見学
- ③ プログラム券進呈
- ④ 所属歌手との交流会(有料)
- ⑤ 日本オペラ振興会会報JOFニュースの送付
- ⑥ 主催オペラ公演1割引(1公演につき2枚まで)